

# ～ みなさまからの質問にお答えします ～

SEA WAVE FMいわきの街頭インタビューに寄せられたみなさまからのご質問です。

この内容は、毎週月曜日の午後6時30分頃からの番組「みんなの幸せ～みんなちがってみんないい」の6月の特集“水と水道”の中で放送されたものですが、放送を聞き逃した方にもぜひお伝えしたいと思います。

一滴コラム  
貯水槽水道ってなに？



**Q** 東日本大震災から2年以上が過ぎたけど、震災の影響は今も残っているの？

震災による復旧工事はほぼ完了しましたが、津波被害を受けた地域については、沿岸地区の復興計画に基づき水道施設の復旧・整備を進める予定となっています。

また、震災時に市内の各地域で大きな漏水が発生し修繕を行いました。現在も、地上に現れない小さな漏水が数多くあることから、これからも引き続き漏水調査や修繕が必要です。



**Q** 水道水の放射性物質の検査はどのように行っているの？

市内の8浄水施設（平・上野原・泉・山玉・川前・入遠野・旅人浄水場及び法田ポンプ場）については週4回、上遠野・鷹ノ巣・根岸の3浄水場については週1回、浄水場の水道水を、水質管理センターにある2台のゲルマニウム半導体検出器で検査しています。



**Q** 放射性物質の検査の「不検出」ってどういうことなの？

「不検出」とは、測定した水道水中の放射性物質の濃度が検査機器で測定できる検出下限値を下回っていることをいいます。

いわき市の水道水については、原発事故直後の平成23年3月16日から国が検査を開始しましたが、当初は検査件数が非常に多く、検出下限値は4ベクレル/kg程度でしたが、同年の10月に水道局独自に検査が行えるようになったことから検出下限値を2ベクレル/kg以下に設定しました。その後、検査する水の量や検査時間を増やして精度を高め、平成24年1月から検出下限値を1ベクレル/kg以下に設定していますので、現在の「不検出」の値は1ベクレル/kg以下となっています。



**Q** 今までの放射性物質の測定結果はどうなっているの？

検査が始まった平成23年3月16日から4月3日までの期間は、水道水中に放射性物質が検出されました。期間中の最大値は放射性ヨウ素が215ベクレル/kg、放射性セシウムが16.3ベクレル/kgで、国が定めた当時の指標値は下回っていましたが、乳児には摂取を控えるよう広報を行いました。なお、4月4日以降の測定結果は、すべて不検出となっています。



**Q** 放射性物質の測定結果は、どうしたら知ることができるの？

検査した翌日には、水道局のホームページで公表したり、各報道機関にもお知らせしています。“FMいわき”では、月曜日から金曜日まで午前7時23分頃に放送しています。



**Q** いわき市では災害が起きたときのために、どのような取り組みをしているの？

災害時にも安定した給水が行えるよう、基幹浄水場間で水の相互融通を可能にする連絡管を整備したり、また、圧送式給水タンク車や車載型給水タンクなど災害時用応急器材を計画的に整備するとともに、日本水道協会東北地方支部やいわき管工事協同組合、北茨城市などと災害時における応援協定を結び、災害発生時の応援体制を整えています。



**Q** 水道料金は、なぜ市町村ごとに違うの？

各市町村の水道事業は、人口や都市形態の違い、水源（河川水、地下水等）の違い、水道施設の数や規模の違いなどから、経営内容がそれぞれに異なりますが、独立採算制が原則で税金に頼らず水道料金で経営しなければなりません。このため、市町村ごとに料金が違ってきます。

お問い合わせ先  
経営企画課広報情報係 TEL 22-9309